

3月にここが変わる！ 図書館の新コンピュータ

2010年3月に図書館のコンピュータシステムがリニューアルし、デザインや機能が大きく変わります。どんなところが便利になるのか、そのうちのいくつかを紹介いたします。

★リアルタイムに情報更新

インターネット・館内検索端末機での予約は、即時受付になります。業務システムと館内検索端末機すべて共通DBサーバにて一元管理することで可能になりました。貸出利用状況も正確に確認できます。

★図書館ホームページ

予約手続きはカート式になります。最初に予約したい資料をカートに入れて置き、まとめて予約申込することが出来ます。
●予約したい本を順番で借りたい時（上下巻や1巻から5巻まで続けて読みたい時など）は、ご自身で順番を割り振ることが出来ます。

★館内の検索端末機

画面がカラフルになって見やすくなります。今までと同様に、キーボードを扱うのが苦手な方のために、タッチパネル式端末でも大きな文字やボタンを使って操作できます。タッチパネル式端末でも漢字入力ができ、検索の絞り込みに威力を発揮します。

●「〇〇関係の本が見たい」というご希望にお応えしてジャンルごとの一覧を見ることができるようになります。予約が多いものや人気の本は貸出・予約ベストでご覧になります。

●画面から予約手続きする時、受取館に他の図書館を選択することが出来ます。

★メールマガジンを配信します。

新システムのリニューアル後に、ホームページにてご案内いたします。同時に、配信を希望する方のメールアドレス（PC版のみ）の登録を開始します。内容は、図書館からのお知らせ、各種イベントのご紹介を始めとして、さいたま市図書館の予約ベストなどの情報をお伝えしていきます。是非、お試しください。



休館のお知らせ

システム入替えのためさいたま市立の全図書館は平成22年2月22日（月）から3月1日（月）までお休みになります。ご不便をおかけします。ご了承ください。

いろいろな面でさらに便利になります。早く使ってみてくださいね。お楽しみに！

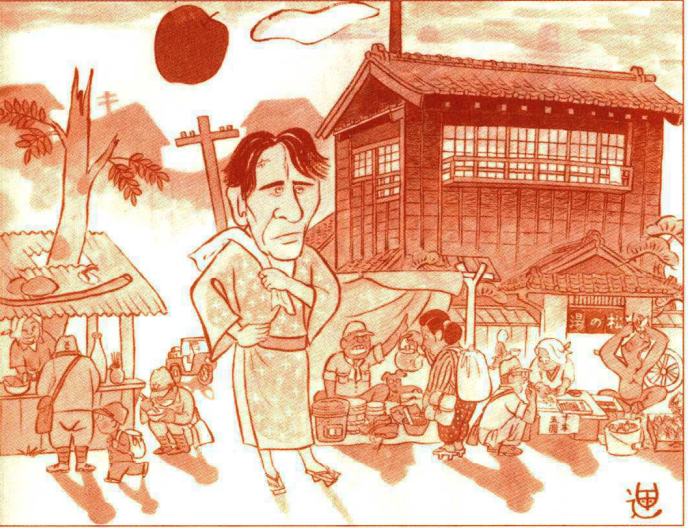


動作確認をする職員



太宰治の大宮

大人とは、
裏切られた青年の姿である。
—「津軽」



「漫画でみる大宮 100 年」(北沢楽天顕彰会 1985 年)より
漫画家の勝又進による「太宰治、大宮で『人間失格』執筆」。
大宮での太宰を、エピソードを散りばめて描いています。

★大宮の太宰を知る本

- ◆埼玉文学散歩 榎本了著 東松山文学散歩友の会 1996年
- ◆埼玉の文学めぐり 関田史郎著 富士出版 1972年
- ◆沙和宋一と太宰治 神弘子著 さきたま出版会 2005年
- ◆著者の神さんは、太宰と同じ青森市の出身。やはり青森市出身で旧大宮市に在っていた作家の沙和宋一らと、タウン誌「おおみや」の編集に長く携わり、地域文化の振興に貢献した。
- ◆わが師太宰治に捧ぐ 桂英澄著 清流社 2009年

著者の桂英澄は、太宰最後の

太宰治ほど、自身のエピソードに富んで、今でも多くの熱心な読者の心をつかんでいる作家は少ないのではないのでしょうか。

既に古典のイメージのある太宰治ですが、2009年が生誕100年にあたります。三鷹市や山梨県では記念した展覧会が開催され、五所川原市と三鷹市では太宰治検定が実施されました。

本屋の店頭でも、人気漫画風イラストや、人気タレントの写真を表紙に使った太宰の文庫本が、最新のベストセラーと同じようになっています。

太宰治というと、「斜陽」「桜桃」といった作品がまず浮かび、陰鬱で退廃的なイメージを持つ方も多いのではないのでしょうか。太宰自身が繰り返し返した心中未遂が小説と結びつけられてしまっているのかも知れません。

中学校2年生の国語の教科書に採用されている「走れメロス」は、信頼と友情の美しさを描いているといわれますが、文学史の参考書等では滅びの美学の代表作家として紹介されることが多いようです。

そんな太宰が愛人の山崎富栄を伴って大宮に来たのは、昭和23年4月29日でした。「人間失格」を完成させるために、古田晁(筑摩書房創

の愛弟子で直木賞候補作家浦和区に住み埼玉県の文壇の発展にも寄与した。桜桃忌の世話人会代表もつとめていた。

★ほかにもこんな本

- ◆回想の太宰治 津島美知子著 人文書院 1981年
- ◆小説太宰治 檀一雄著 雄全集第7巻(新潮社 1977年)所収
- ◆ピカレスク太宰治伝 猪瀬直樹著 小学館 2000年
- ◆恋の虫 山崎富栄と太宰治 松本侑子著 光文社 2009年
- ◆直筆で読む「人間失格」 集英社 2008年
- ◆「人間失格」の直筆原稿を書き損じや書き加えまでも写真版で完全収録している。
- ◆走っけるメロス 鎌田紳爾訳 未知谷 2009年
- ◆パリソン歌手でもある鎌田さんが「走れメロス」を津軽語に翻訳。自ら津軽語で朗読したCDが付属されている。
- ◆ダズゲマイネ。太宰治蒼春篇 楠木あると著 講談社 モーニングKC 2009年
- ◆兄の死、最初の結婚、鎌倉心中事件など、津島修治の誕生から25歳までを描いたコミック。「んだすげまいね」は津軽語で「だから駄目」の意味。「卑俗性」を意味するドイツ語に由来する「ダズゲマイネ」という太宰の作品もある。

設者)と宇治田積(元 大宮町長、さいたま市名誉市民)の計らいで、現在の太宰区役所近くにあった小野沢さん宅に滞在して、富栄にかしずかれて執筆にあたりました。

「埼玉文学散歩」のなかで小野沢さんは「外見からは寂しいまでに静かな生活で、どこにも明るい影はみられなかった」と語っています。仕事場は8畳と3畳の2部屋で、ほとんど閉じこもったまま1日5枚の原稿を書いていたそうですが、銭湯松の湯(跡地が現在の運見病院)に出た時などには氷川参道にあった闇市(現在の平成広場)に立ち寄りたりしています。

大宮での太宰は、当時はなかなか食することができなかったと馳走を食べ、入手が難しかったウイスキーを飲みながら、来訪者に邪魔されることなく執筆を進めました。

2週間後の5月12日、太宰は代表作「人間失格」を、小野沢さんが所有していた大門町の仮寓で書き上げました。「人間失格」は、主人公の3通の手記を中心に構成されていますが、第3の手記の後半部分とあとがきを大宮で執筆したので。

大宮を離れる時に太宰は、「グット・バイ」の続きはぜひここで書きたいから、部屋をあけておいて下さいね」と言い置いたそうです。1ヶ月後の6月12日の夕方、再び

本だけじゃない!太宰治

★映画

根岸吉太郎監督が「ヴィヨンの妻 桜桃とタンポポ」で、モントリオール映画祭で最優秀監督賞を受賞したというニュースは記憶に新しいところですが、劇場でご覧になった方もいると思います。この映画は太宰治の「ヴィヨンの妻」をベースに「思い出」「桜桃」「姥捨」「灯笼」「きりぎりす」「二十世紀旗手」などの太宰治の短編のエッセンスを取り込んで映像化した作品です。

生誕100年にあたる2009年はこのほかにも、芥川賞作家の川上未映子がヒロインを演じて話題の「バンドラの匣」(監督・富永昌敬)や、「斜陽」(監督・秋原正俊)といった小説が次々と映画化されました。代表作である「人間失格」(監督・荒戸源次郎)も映画化されて2010年初春の全国ロードショーが決定しています。ほか、主な映画化作品:「タイトル」(原作・監督・公開)

- ◆「富嶽百景 遙かなる場所」(富嶽景・秋原正俊・2006年)
- ◆「奇巖城の冒険」(走れメロス・谷口千吉・1966年)
- ◆「真白き富士の嶺」(葉桜と魔笛・森永健次郎・1963年)
- ◆「看護婦の日記」(バンドラの匣・吉村廉・1947年)
- ◆「四つの結婚」(佳日・青柳信雄・1944)

◆印の資料はさいたま市図書館で所蔵しています。

★こんな曲があります

「饗応夫人」太宰治作「饗応夫人」のための音楽 田村文生作曲 1994年全日本吹奏楽コンクール課題曲。冒頭の木管楽器の高音が印象的な、高度な演奏技術が求められる曲。作曲の田村さんは川越市出身で、この曲は太宰作品に描かれた矛盾した人間性を表現したといわれている。

「今宵、月が見えずとも」新藤晴一作詞、岡野昭仁作曲 紅白歌合戦にも7回出場したロックバンド、ポルノグラフィティの27枚目のシングル。2008年12月に発売され日本レコード協会のゴールドディスクに認定されている。1番の歌詞にてくる「太宰」は太宰治のこと。

「メロスの道」秋元康作詞、太田美知彦作曲、市川裕一編曲 秋葉原の専用劇場では毎日公演を行っている国民的アイドルグループ、AKB48(チームK)の4作目のステージとして平成20年5月から翌年4月まで公演された「最終ベルが鳴る」で使用された楽曲。「走れメロス」をモチーフに作られている。

「メロスのように」ONELY WAY 秋元康作詞、中崎英也作曲 昭和60年から全38話がテレビ放送されたサンライズ製作のロボットアニメーション「蒼き流星SPRITS」の主題歌。やはり「走れメロス」をモチーフに作られている。番組終了後も堀江由衣などの声優がカバー録音している。



特集

雪・氷の本



北越雪譜

鈴木牧之編撰 岩波書店 1978

雪国の生活を描いた本といえば、まず思い浮かぶのが鈴木牧之の著した『北越雪譜』。

1837年(天保8年)から1841年(天保12年)に出版された2編7巻には、雪に関する科学的な説明から始まり、雪国と暖国の違い、地場産業の縮や越後各地の案内などが詳細に描かれています。なかには「初雪から12月25日までの間の積雪が18丈(約54メートル)あった」「熊に助けられた老夫」など驚くような話もあります。また数多くの挿絵により当時の雪国の様子をよりいっそう伺い知ることができます。しかし、残念なことには1842年牧之の死により、雪国の暮らしを描いた2編は正月の様子から春・夏へと移るところで終わってしまいました。

昨今の地球温暖化や消雪技術の進歩などで、雪国の生活は昔とは大きく変化していると思われませんが、寒い冬、雪国へタイムスリップしてみませんか。

暗い、寒い、と

どこかネガティブなイメージの冬。

ですが、詩人の高村光太郎は

「冬の送別」(*)という詩のなかで

冬の美こそ骨格の美、

冬の智慧こそ聖者の智慧、

冬の愛こそ魂の愛。

と詠い、春の訪れを嘆きました。

そう、冬とは魅力的な季節なのです。

そんな冬を象徴する

雪や氷についての本を

集めてみました。

*「日本の詩歌10 高村光太郎」
(中央公論社 1965)所収



本棚 ぶらり



雪の結晶 小さな神秘の世界

ケン・リップレクト著、矢野真千子訳
河出書房新社 2008

雪の世界へようこそ。

二千年以上も前の中国の本には、すでに雪の結晶が六角形だと書かれている。17世紀には天文学者のケプラーが、雪の結晶は六角形をしている事を指摘し、なぜ六角形になるかをはじめて論じた。

日本においては、江戸時代に土井利位という殿様が顕微鏡をつかってスケッチした『雪華図説』という本をのこしている。

雪の結晶。自然が作り出す造形美は、私たちがだんだん思っているよりずっと奥深いものである。この本は写真を250点以上掲載。典型的な形から珍しい形まで、構造や種類、結晶の成長、しくみなどを解説。ルーペ・顕微鏡・カメラを使った観察方法も収録されている。

この本を手にとったら、雪の降る日がきつと待ち遠しくなるのでは。。



マイナス50℃の世界

米原万里著、山本皓一／写真 清流出版 2007

2000年も前に極寒のシベリアに漂着した日本人達がいた。天明2年(1782年)、商人の大黒屋光太夫の船は激しい嵐で太平洋を漂流し、たどり着いたのはアリューシャン列島のアムチトカ島。その後、ロシアの大地を10年間漂泊しながら生きのびた。その冒険は井上靖の「おろしや国酔夢譚」などの小説にも描かれた。

著者は、彼らの足跡をたどる番組の取材班に同行した。シベリア横断のルートの中で、特に寒さの厳しいヤクート共和国(現サハ共和国)の気温は、真冬にはマイナス50℃を下回る。その寒極と呼ばれる寒さはどれほどのものなのか。

氷の上を歩くとき、私たちは滑らないように足元に気をつける。滑るのは、氷そのものではなく、摩擦で解けた氷が水となって膜を作るから。マイナス50℃の世界では、摩擦くらいで簡単に氷は解けない。スキーマスケットも、暖かくなったら春先のスポーツだ。この本を読むと、日本の冬はなんと暖かいと感じるに違いない。



雪の下の蟹

古井由吉著 「男たちの円居」(講談社、1970)所収

いつ降りやむのかわからない雪。その中で人々は、屋根から雪をおろし続ける。

年始の東京から勤め先の金沢へもどって来た「私」も、はじめは炬燵で本を読みながら遠くに雪おろしの掛け声をきくばかりだったが、やがて下宿の主人の雪おろしを手伝うようになる。雪に閉ざされたなかで「私」は、11月に見た日本海を思い出し、そして海底でひそんでいるはずの蟹を思い浮べる。暗い海の底で、甲羅の中で成長してゆく蟹。その姿が生と死のイメージとして「私」につきまとう。不通になる北陸線、下川に雪を捨てて捨てないでもめる住民、汲み取りにこないためにあふれそうになる便所、そしてようやく雪がやんだとき、そこに現れる破壊された街の姿…。

1963年に北陸を襲った三八豪雪での体験をもとに、生と死と幻想の世界を描いた、古井由吉初期の作品。



どしどしかん 探偵事務所

雪は融けると水になるけれど、水を凍らせても雪にならないのはなぜ？

④ 雪や氷はあたためると融けて水になります。でも、水をつめたく冷やすと氷にはなりますが雪の結晶はできません。

雪のできかたについて、「水が氷の結晶となったもので、空高く存在している水が凍るのであるが、この空中の水というのは水蒸気のことである。温い水蒸気が自然対流で上層へ昇って行き、かつ風によって異なる地点に運ばれて行って、気温の十分に低いところで昇華作用によって固化した場合に雪が出来る」と雪(中谷宇吉郎著 岩波文庫)。

また、「液体の水を凍らせても雪結晶はできません。水蒸気が空中で昇華凝結つまり液体の状態を解さないでいつきに凍って固体になると、雪結晶は形成されず」(スノーフレーク「ケニス・リップレクト著 山と溪谷社」)。

では雨と雪はどちらが先かと考えると、「雪が雨のおもこだったわけである」「雪花譜 高橋喜平他著 講談社」だが、雨が凍ることもあるようです。「降っている雨が空中で凍ることもありますが、このような種類の降水は凍雨(とうりゅう)と呼ばれます。凍雨の粒子はこのようになっているかという、凍った水の小さな粒です。雪結晶のようにきらびやかな模様や対称性はどこにもありません」(スノーフレーク)。

東浦和図書館

東浦和図書館は緑区中尾の「さいたま市地域中核施設プラザイースト」一階にあります。駅からは少し離れていますが、バス停は近く、浦和駅東口からは頻りに路線バスがでています。

大きな窓で囲まれた半円形ワンフロアの館内は、ピンクを基調とした低めの書架がゆとりをもって配置され、明るく広々としています。書架の間隔が広く、段差も無いので車椅子やベビーカーでもご利用いただけます。窓際の閲覧席からは図書館を囲む木々の緑が目によさしく、春には敷地内の桜が見事です。

児童書や実用書が充実していることから平成9年の開館当初から家族連れでのご利用が多く、とくに休日は3台ある自動貸出機がフル稼働の状態です。東浦和図書館の特色は、用途やテーマにあわせて本をまとめたコーナーがある点。小学校高学年から高校生向けの本を集めたヤングコーナー、家や育児、コンピュータ、旅行等用途にあわせて



サッカーコーナー

サッカーコーナー、家や育児、コンピュータ、旅行等用途にあわせて



窓の外に緑をみながら

本を集めた実用書コーナー、さいたま市関連の本を中心とした首都圏コーナー等、資料をテーマにわけて置いています。その中でも特にオススメなのがサッカーコーナー。緑区にふたつのサッカー場があることから、浦和レッズを中心としたサッカーに関する資料を集めています。本だけでなく、サッカー雑誌やビデオ、タッチデープログラムなどもご覧いただけます。「駒場スタジアム」や「埼玉スタジアム2002」にお越しの折にはぜひお立ち寄りください。

また図書館のサポーター「図書館友の会」の活動も活発で毎週月曜日の本の排架や修理をはじめ、友の会主催の講座も開催しています。

明るく開放的な東浦和図書館にぜひ足を運んでみてください。

(所在地) 緑区中尾1440-8

(正) 駒場スタジアムの所在地は

浦和区です

東京電力(株)さいたま支社より社より点字図書、録音図書、大活字本の寄贈がありました

東京電力(株)さいたま支社より中央図書館に、視覚に障害を持つた方のための資料である点字図書、録音図書、大活字本の寄贈がありました。去る11月16日、市長公室にて、清水勇人市長より感謝状が送られました。いただいた資料は図書館の資料としておおいに活用させていただきます。



編集：さいたま来ぶらり通信編集委員会 発行：さいたま市図書館

http://www.lib.city.saitama.jp/ 携帯電話用 http://www.lib.city.saitama.jp/m/ (下のQRコードを読み込んでください)

北浦和図書館 832-2321	桜木図書館 649-5871	春野図書館 687-8301	与野南図書館 855-3735
南浦和図書館 862-8568	大宮西部図書館 664-4946	大宮東図書館 688-1434	岩槻図書館 757-2523
東浦和図書館 875-9977	三橋分館 625-4319	七里図書館 682-3248	岩槻駅東口図書館 758-3200
桜図書館 858-9090	北図書館 669-6111	片柳図書館 682-1222	岩槻東部図書館 756-6665
大久保東分館 853-7100	宮原図書館 662-5401	与野図書館 853-7816	
大宮図書館 643-3701	馬宮図書館 625-8831	西分館 854-8636	

事務局：中央図書館 浦和区東高砂町11-1 TEL 048-871-2100

★★編集委員より★★ 冬から春へと移ってゆくこの時期、日々姿を変えてゆく木々や植物が私たちに季節の変化を教えてください。そして図書館は新しいコンピュータとともに春を迎えます。ご期待ください。次号発行：平成22年4月1日

